



川中だより

令和7年10月31日（金）発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第7号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>



自分で考え、選び、行動する力＝「エージェンシー」

校長 若月 隆雄

最近、教育の現場で「エージェンシー (Agency)」という言葉がよく使われるようになってきました。これは難しい言葉のように聞こえますが、簡単に言うと、「自分の学びや生活について、自分で考え、選び、行動する力」のことです。

これからの時代は、正解のない問いに自分で向き合い、他の人と協力しながら答えを見つけていく力が求められます。そのためには、自分で目標を立て、自分にとっての「よい学び」や「よい生き方」を考える力が必要です。

○エージェンシーを育てることで、

- ・学校や社会での変化に柔軟に対応できる
- ・自分らしく目標を持って生きられる
- ・人との違いを大切にしながら協力できる……といった力が身につきます。



本校では、以下のような取り組みを通して、生徒たちのエージェンシーを育てています。

●話し合い活動（対話）の重視

- ・自分の考えを伝える、友だちの考えを聴く時間を大切にしています。

●「選べる学び」の導入

- ・教科学習や総合的な学習で、テーマや方法を生徒が選ぶ場面を増やしています。ノート（紙）でまとめるか、タブレット（デジタル）でまとめるかの選択もその一つです。

●ふり返りと目標設定の時間

- ・学びの振り返りを通して、自分の成長を自分で感じられるようにしています。

ご家庭でのお子さんとの会話の中でも、ぜひ次のような問いかけをしてみてください。

「今日、どんなことに自分でチャレンジした？」

「どうやって決めたの？」

「次はどうしてみたい？」

こうした対話の中で、子どもたちは自分の考えを深め、自信をもって行動できるようになります。エージェンシーを育てることは、すぐに結果が出るものではありません。しかし、小さな選択や経験の積み重ねが、大きな「自分らしさ」につながっていきます。学校と家庭が一緒になって、子どもたちの「主体的に生きる力」を育てていきましょう。

去る10月24日（金）に川中音楽祭を実施しました。音楽科の兼務教員が週1回しか勤務できない状況の中で、ピアノ伴奏を新潟大学の学生（佐藤柚芽さん）に依頼し、音楽祭実行委員が中心となって日々の練習に取り組んできました。その生徒達の姿は、実に頼もしく、立派でした。地域の来賓の方からは「生徒たちの心のこもった合唱で心が浄化され、小杉さんのピアノで心が満たされる素晴らしい音楽祭でした。」「生徒たちの合唱に感動しました。幸せを感じる時間をありがとうございました。」とお誉めの言葉を頂戴しました。また、ピアニストの小杉さんからは、「素直で純粋な生徒たちの合唱に心の底から感動しました。」というメッセージをいただきました。

音楽祭スローガン「心声一体～71人で奏でる音色～」を達成し、音楽祭を通してエージェンシーを育むことができたように感じます。ご来場いただいた保護者、地域の皆様ありがとうございました。